

学年 学科(1年はクラス)	1年 全クラス	科目 分類	古典 Classical Japanese	講義 必修	前期または後期 1単位	学習教育目標 4	担当	渡邊 忠昭 Tadaaki WATANABE
概要	<p>現代日本文化の源流としての基本的な古典の作品に親しみ、その底に流れている精神、人間性の「不易」なものと時代とともに変化する「流行」を見きわめる力を養う。</p> <p>さらに、そこで培われた「読み」(理解力)、「書き」(表現力)、「そろばん」(洞察力)をもって、国際社会における情報収集能力、情報発信能力の基礎を習得する。</p>							
科目目標 (到達目標)	古文・漢文の読解を通じて日本文化受容への理解を深め、歴史を踏まえた文化発信力の基礎を身につける。							
教科書 器材等	プリント教材							
評価の基準と 方法	定期試験(80%)、平素の確認テスト・学習状況(20%)で評価							
関連科目	1～4学年の国語関連科目							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	古文入門 「醒睡笑」「常山紀談」 古文の読み方、五十音図、いろは歌						
第2回		「十訓抄」「宇治拾遺物語」						
第3回		外来文化との出会い 「伊曾保物語」 和歌の歌体 和歌の修辞法						
第4回		和歌 「記紀歌謡」「万葉集」 勅撰和歌集 「古今集」「新古今集」						
第5回		作り物語 「竹取物語」						
第6回		歌物語 「伊勢物語」						
第7回		日記文学 「土佐物語」						
第8回		中間試験						
第9回		随筆 「枕草子」「方丈記」「徒然草」						
第10回		「源氏物語」 紀行 「奥の細道」						
第11回		漢文入門 訓点について						
第12回		唐詩 杜甫 李白 王維 等						
第13回		「塞翁馬」(淮南子)						
第14回		「鶏口牛後」(十八史略)						
第15回		諸子百家について 論語						
第16回		論語 老子						
第17回		期末試験						
オフィスワー	出講日休み時間(非常勤講師室)							
授業アンケートへの対応	各单元ごとの理解度を確認し、それを踏まえて講義を進める。							
備考	教材を変更することもある。 2組・5組は前期に開講、1組・3組・4組は後期に開講。							
更新履歴	20120320 新規							